

やつおめで

2024 No.42 (1月号)

編集発行: 和田まちづくりセンター 協力: 和田まちづくりセンター運営推進委員
電話: 45-1918 E-mail: wada-k@ph-hamada.jp

～和田地区いろいろ見て歩く記～

も～い～くつ



おしよ～う

が～つ～



ね～ると～



明けましておめでとうございます。皆さま、どのように新しい年をお迎えでしょうか？皆さんにとって、素敵な1年になりますように心から願っています（つめ）

小学生人権標語テスト入選作品

やさしさは みんなを笑顔に する力

〔和田地区の歴史コーナー〕

和田地区の地蔵紹介 ③

【湯松六地蔵】

（本郷）



この地蔵さんは山中の宝福寺から持ち帰られた。元の場所は現在堂庭町（ドウニワマチ）という田になっている。

和田の歴史といいつたえ
「防六をあおぎて」佐伯充男著参照



ふ



れ



あ

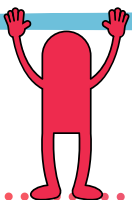
令和5年12月10日（日）に子ども会、和田地区社協、食生活改善推進協議会、まちづくりセンターの4団体協働事業『ふれあい集会』が和田まちづくりセンターでありました。

●食作り体験では、郷土料理「角寿司」と「かぼちゃの丸ごとナッツサラダ」に挑戦しました。地域の皆さんにお借りした木杵を使い「酢飯はこのぐらい？」「ご飯で手がベタベタ…」と、苦戦しながらも、2つ目・3つ目と作るうちに手際もよくなり、親子で協力しながら楽しく作る姿が見られました。



感想

- ・たわら型の中に、具材を入れるのが難しかったが、上手にできました。
- ・味付けの時、分量など家庭科の授業で習ったことが、役立ちました。



食育女のみなさん、ありがとうございました！





●レクリエーション協会の方にご協力いただき、バルーンアートとゲームを行いました。バルーンアートでは、風船を使って犬やウサギ、剣やオリジナル作品？などを作り、子どもだけではなく、大人も夢中になって遊びました。



●ロールケーキに生クリームやチョコをトッピングして、素敵なクリスマスケーキが出来上がりました。



●和田地区まちづくり推進委員会より子ども会のみなさんへクリスマスプレゼントが贈られました。



チョコでかわいくトッピング





教子ウィムセットの海外便り 第20回

アメリカで

生け花教室に参加！



皆さま、明けましておめでとうございます。2024年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、今回は私はナッシュビルダウンタウンにある図書館にて、人生初の生け花教室に挑戦してきました。アメリカで生け花？と不思議に感じる方もいらっしゃるかと思いますが、実は日本の生け花や盆栽の文化は外国の方に非常に人気があるのです。



今回は、市内にある大学で日本語や伝統を教えている日本人教授に習い、友達と一緒に生け花を経験しました。私たち以外には、アメリカ、ロシア、中国…と違う国出身の方や、同じ日本人でも日本にある会社や病院、日系企業で働いていたり、日本人だけでもアメリカ生まれの学生さんなど、経歴も様々な方が参加していました。

赤と黒のチェックのシャツを着ている方が、教子さんです！

文・写真 教子ウィムセット



教授から教わる生け花は、決して堅苦しい厳密なものではなく、生け花の基本を守りつつも個人の感性を大切に、集中することで気持ちをリラックスさせたり、花から元気や笑顔をもらえるなど、楽しくいけることが重要であると学びました。参加者たちは、話をしながら和気あいあいと自由に表現ができる生け花にさらに興味をもった様子でした。生け花は、芸術の一つとして、幅広い世代に評価されている素晴らしい日本の文化です。私もすっかり花を生ける生活にはまってしまいました。ナッシュビルでも私たち日本人が少しずつ広めていけたらいいなあと思った一日になりました。